

史料群番号 61

| | | | | |
|-------|----------------------------|------------|------|----|
| 史料群名 | いとうぎよそん 伊東漁村史料 | | 旧所蔵者 | 不明 |
| 採訪時住所 | (静岡県伊東市新井) | | | |
| 現在の住所 | 静岡県伊東市 | | | |
| 採訪年月 | 不明 | | | |
| 史料の年代 | 天明5 (1785) 年～昭和20 (1945) 年 | 史料の 総点数 | 32点 | |
| 年代の内訳 | 近世 2点/近代 29点/不明 1点 | 筆写稿本 | なし | |
| 既刊行目録 | なし | | | |

収蔵にいたる経緯

旧水産資料館が日本常民文化研究所に委託して作成した史料整理カードに「大石清一郎氏は水産庁資料課勤務の農林事務官（農林省職員録昭和33年版）。この資料は同氏が学生時代現地に旅行した際、入手したものの由」と記入されている。したがって、本史料群は「漁業制度資料調査保存事業」によって収集されたものではない。ただし、正確な採訪地、採訪時期は不明である。

史料群の概要

採訪地の伊東市新井は、近世から明治22年まで新井村、その後は伊東村となり、明治39年に伊東町、昭和22年に伊東市となった。

近世の史料2点は新井村の明細帳・年貢皆済目録で、明治以降の史料は鯨、鰯（いるか）漁に関係するものや伊東村新井漁業組合の認可に関するものなどそれぞれ1～2点である。

昭和15年から20年までの伊東漁業会の「鮮魚水揚高」を示したガリ版刷り印刷物が含まれており、昭和19年については伊東漁業会だけではなく、宇佐美、熱海、網代町、対馬村、初島、稲取町の各漁業会の水揚高の統計が残されている。これら15冊の冊子は、ほぼ同一の形式を持っており、あるいは採訪者はこの年に現地を訪れ、漁業会の統計を入手し、とくに伊東漁業会に保存されていた史料をあわせて、戦後に水産資料館に寄贈したとも考えられる。

